

**西千葉学園通り沿いで「西千葉アーバンファーム」が開始されます！
～地元住民・大学・企業が共同で植物を育てて、歩いて楽しい街をつくります～**

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、これまでの「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォークブルなまちづくりを推進しています。

このたび、西千葉学園通り沿いにおいて、地域の方々が主体的に「みちの使い方」や「まちの将来」を考え、実行する社会実験「西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクト」の新たなプロジェクトとして、「西千葉アーバンファーム」を開始しますので、お知らせします。

1 開始日

令和5年11月18日（土）から

2 主催等

主催 千葉大学都市計画松浦研究室
みんなのみちばたプロジェクト実行委員会
共催 株式会社Zozo
千葉市

**3 実施内容**

西千葉学園通り沿いにおいて、市民農園のような区画貸しではなく、緑町1丁目にお住まいの住民や千葉大学の学生がプランターを共同管理しながら植物を育てます。主な管理内容は、栽培に伴う農作業や農空間の管理などです。

本プロジェクト最初の取り組みとして、Zozoの広場にプランターを設置し、共同管理を実施します。

また、12月以降に収穫祭・食事会を開催する予定です。

(1) 設置日

令和5年11月18日（土）13:00～15:00 ※雨天時は翌日同時刻に延期

(2) 設置場所

Zozoの広場（稲毛区緑町1-16-5）

※「Zozoの広場」は、株式会社Zozoが地域との交流を目的に令和2年7月に開設したフリースペースです。

<参考>

1 西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクトについて

(1) 社会実験の目的

西千葉学園通りにおいて、地域の方々が主体となり、「みちの使い方」や「まちの将来」を考え、実行する。公共空間の利活用の可能性を検証しながら、活動の輪と幅を広げていくことを目指す。

(2) 実施期間

令和4年5月1日～令和6年4月30日（2年間）

(3) 実施主体

みんなのみちばたプロジェクト実行委員会、千葉市（共催）
（実行委員会の構成員）

NPO法人Drops、緑町1丁目自治会、沿道店舗

(4) これまでの取り組み

ア 「みちばた空間」の創出

令和4年6月、西千葉学園通りの歩道（植栽帯）に、ベンチ等から構成される「みちばた空間」を3カ所設置しました。

イ 「まちいす」の設置

千葉大学との連携のもと、令和5年9～10月、信号待ちや店舗のテイクアウトなどで気軽に座ることのできる「まちいす」を計5基設置しました。

ウ 「みちのあかりプロジェクト」

令和5年11月、千葉大祭の開催にあわせて、地元の皆さんが自宅などで作成し持ち寄った合計92個のアイスクャンドルが西千葉学園通りと京成みどり台駅を彩りました。



2 千葉大学および株式会社ZOZOとの包括的連携協定について

千葉市では、地域の一層の活性化及び市民サービスの向上のため、平成31年2月13日に株式会社ZOZOと包括的な連携に関する協定を締結しました（同日付けで株式会社ZOZOと国立大学法人千葉大学も協定を締結）。

なお、千葉市と国立大学法人千葉大学は、平成22年2月4日に包括的な連携に関する協定を締結しています。